

議会モニターから の意見・ご感想

議会モニターに委嘱された方々より、積極的にアンケートの回答をいただいています。令和元年第4回定例会の傍聴・YouTube・井戸ばた会議・議会だよりなどについて、ご意見・ご感想を寄せられましたので一部を紹介いたします。いただいたご意見等を参考に、よりよい議会活動・運営につなげていきます。



情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の傍聴前に議員の出前講座などをすると興味がわくのでは。 ・議会を開く時間を遅くして、町民がもっと参加できるようにしている市町村もある。 ・DVDで一般質問が図書室で借りられるのも、とても良いと思います。ぜひ、もっと広く町民に伝わる工夫をしてほしい。 ・議会を見に来た町民が一連のやりとりを傍聴した上で、さらに意見が言える時間があるとより創造的だと思う。
議会だより	<ul style="list-style-type: none"> ・議会に慣れていない人にもわかりやすく説明があり、読みやすい。続けていただきたい。 ・前回より、字が濃くなって見やすくなったと思う。 ・表紙がカラーでデザインも親しみやすい。 ・議会だよりだけで読み込もうとすると、内容が簡潔すぎてどのような意図の質問なのかが判りづらい。
た井 会戸 議ば	<ul style="list-style-type: none"> ・議会がこれは！としたことには町が期限付きで必ず返答する、という決まりができたことを伺い、素晴らしいことだと思った。 ・各グループへ配置する議員のバランスをとられるといいのではないか。 ・先日の井戸ばた会議に参加したが、とても和やかな雰囲気に参加して良かった。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉や教育など足下を固めることに尽力してはどうでしょう。 ・「しもりんパーク構想」については、情報開示のもとで町民が納得できる説明や合意が必要。 ・コロナウイルス対策も必要だが、暮らしづらくなならない程度でお願いしたい。 ・移住促進に力を入れることも必要だが、町が独自に外貨を稼ぐ方法（ふるさと納税、クラウドファンディング等）で収入を増やすなど、移住促進と両輪で力を注ぐべき。 ・第2期子供・子育て支援事業計画案が出されているが、計画だけに終わらないように子供の未来を応援するための施策となっているので、子供の幸せと健康を基本に考え、大人の都合ではない、子供のための行動ができるようになってもらいたい。

議会モニターを募集しています

- ・応募資格 町内に住所を有する満18歳以上の方
 - ・活動内容 議会だより等への意見、提案など
 - ・任 期 令和3年3月31日まで
 - ・申込期限 令和2年5月11日(月)まで
- ※詳細につきましては、議会事務局までお問い合わせいただくか、ホームページ又は行政情報告知端末をご覧ください。

編集後記

この原稿を書いている3月末では新型コロナウイルスが全世界で猛威を振るっています。ロックダウンやオーバーシュートなど、聞き慣れない言葉も飛び交い、オリンピックは延期、外出の自粛要請、日本の喜劇王死す、など暗いニュースばかり。

一方で「社会的距離」に効果？新型ワクチン開発というニュースもあり、そちらに期待をかける日々です。不幸中の幸いか、日本は世界の中では被害は軽い方という報道もあり、そのなかでも都会から距離がある下川町は、以前なら人口減少、定住者を増やせ、と言っていたのが、「社会的距離」が保たれていると、このピンチには強い面もあるかと思えます。

明るくニコニコ免疫力アップ！で乗り切りましょう。
(中田)



議会広聴広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員長 中田 豪之助
副委員長 小原 仁興
委員 我孫子 洋昌